

中部地方整備局 名古屋港湾事務所
北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所 金沢港湾・空港整備事務所
記者発表資料

発表日
平成24年8月29日

<p>輪島港で大規模油流出事故を想定した油回収訓練等を実施します ～我が国最大級の大型油回収船「清龍丸」及び「白山」が訓練に参加し、一般公開を開催～</p>
--

平成9年に日本海で発生したナホトカ号油流出事故のような大量油流出事故に対応するため、国土交通省は全国で3隻の大型浚渫兼油回収船を保有していますが、9月2日（日）に輪島市において実施される石川県防災総合訓練に「清龍丸」及び「白山」の2隻が参加します。

また、同日輪島港では、大規模災害時の港内航路啓開訓練も実施します。

なお、訓練前日の9月1日（土）に、「清龍丸」は輪島港で、「白山」は金沢港でそれぞれ船内を一般公開しますので、併せてお知らせします。

**【訓練関係】**

(1) 「清龍丸」への防災ヘリコプター離着船訓練（被害状況調査訓練）

場 所 輪島港の港内（添付図1参照）  
主 体 名古屋港湾事務所及び北陸地方整備局  
内 容 ・被害状況を調査する北陸地方整備局所有の防災ヘリコプター「ほくりく号」が、海上で「清龍丸」のヘリポートに着陸及び離陸する訓練

(2) 大規模油回収訓練

場 所 輪島港の港内（添付図1参照）  
主 体 名古屋港湾事務所及び新潟港湾・空港整備事務所  
内 容 ・津波により輪島港内へ油が流出したことを想定し、「清龍丸」及び「白山」の2隻の油回収船が連携して回収する訓練

(3) 輪島港航路啓開訓練

場 所 輪島港の港内（添付図1参照）  
主 体 金沢港湾・空港整備事務所及び(株)喜多組  
内 容 ・津波により流出した「がれき」が輪島港内の船舶航行に支障になったことを想定し、起重機船により障害物を撤去し、航路標識を設置する訓練

**【一般公開関係】**

(4) 「清龍丸」船内一般公開

日 時 平成24年9月1日（土）10:30～15:00  
場 所 輪島マリンタウン岸壁（添付図1、チラシ参照）  
主 体 名古屋港湾事務所  
備 考 ・同日9:30～10:00に輪島市による歓迎式が開催される予定です。  
・船内も撮影取材可能です。

(5) 「白山」船内一般公開

日 時 平成24年9月1日（土）10:30～12:00、13:00～15:00  
場 所 金沢港無量寺埠頭（添付図2、チラシ参照）  
主 体 新潟港湾・空港整備事務所

- 備考 ・同日 10:00 から(社)金沢港振興協会による歓迎式が開催される予定です。  
・船内も撮影取材可能です。

- ※ 上記訓練及び一般公開は、荒天等により、やむをえず中止する場合があります。  
※ 上記時刻は予定であり、予告なく変更する場合があります。

<特記事項>

- 「清龍丸」は、我が国最大の油回収機能を有する船です。
- 平成9年に日本海で発生したナホトカ号油流出事故では、初代（先代）の「清龍丸」が油回収活動で活躍しました。
- 今回の2隻（「清龍丸」「白山」）が、日本海で油回収合同訓練を実施するのは初めてです。

<発表記者クラブ>

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
輪島記者クラブ

<お問い合わせ先>

◆「清龍丸」に関すること

中部地方整備局名古屋港湾事務所  
海洋環境課 塚本  
TEL 052-651-6791

◆「白山」に関すること

北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所  
海務課 川瀬  
作業船管理官 中西  
TEL 025-222-6111

◆その他

北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所  
(訓練関係) 沿岸防災対策室 東條  
(その他) 企画調整課 武田  
TEL 076-267-2241

# 添付図 1

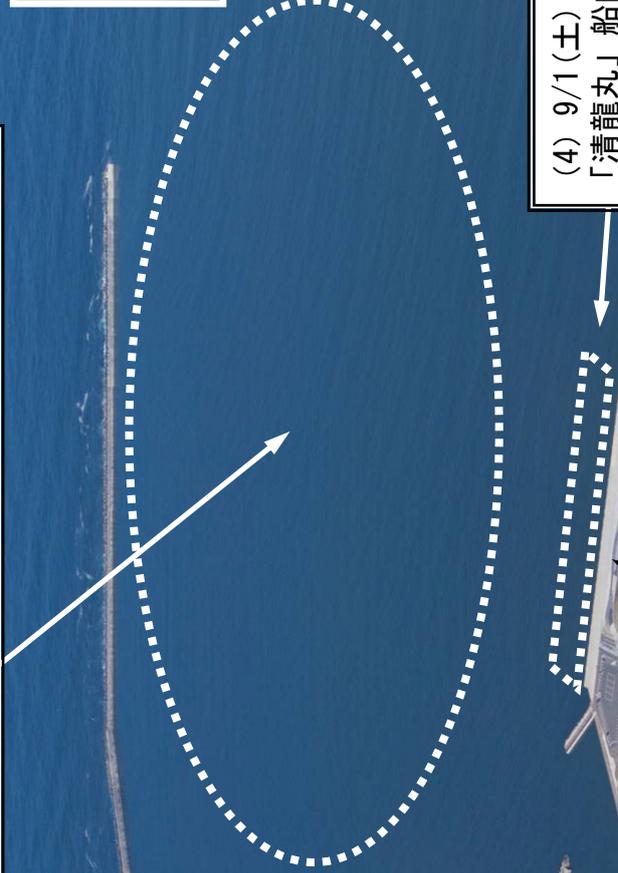
- (1) 「清龍丸」への防災ヘリコプター離着船訓練 (被害状況調査訓練)
- (2) 大規模油回収訓練
- (3) 輪島港航路啓開訓練

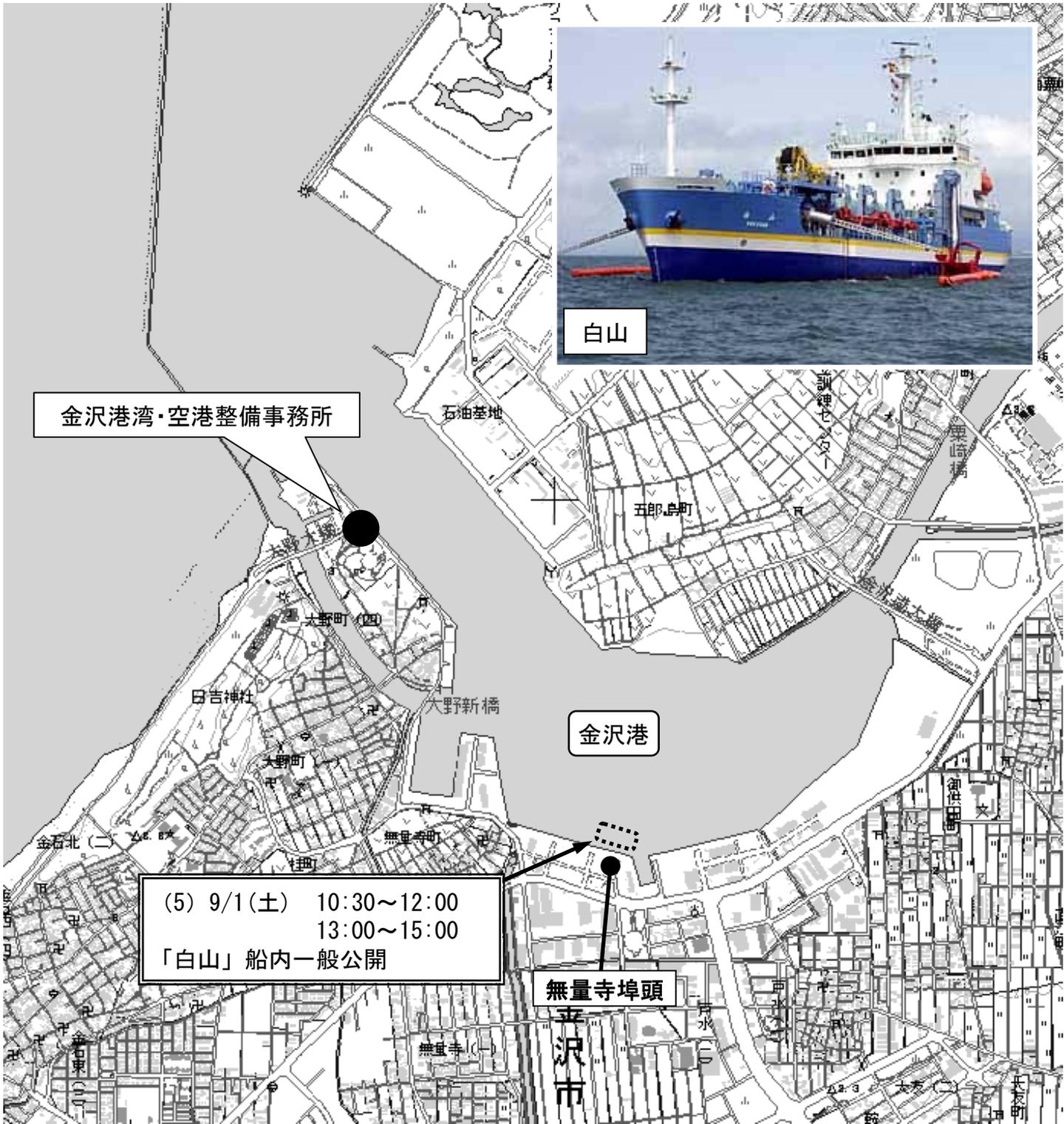


(4) 9/1(土) 10:30~15:00  
「清龍丸」船内一般公開



輪島マリンタウン岸壁





# 大型浚渫兼油回収船 「白山」船内一般公開

- ◇ 9月2日に輪島市で開催される石川県防災総合訓練に参加します
- ◇ その前日に金沢港に寄港し、一般公開を行います

- 「白山」は、平成9年のナホトカ号油流出事故のような大型タンカーなどから大量に流出した油を海上で回収するために国土交通省が所有する3船のうちの1船です

- 船内では、海上で油回収を行うための装置などを見学することができます

## 白山

総トン数 4,185 t  
全長 93.9 m  
全幅 17 m  
泥艀容量 1,380 m<sup>3</sup>  
回収油水槽 1,530 m<sup>3</sup>



公開日時  
**9月1日(土)**  
10時30分～12時00分  
13時00分～15時00分  
金沢港無量寺ふ頭

現地受付！  
事前の申し込み  
不要です！

同9月1日(土)  
輪島マリンタウン岸壁において  
大型浚渫兼油回収船「清龍丸」の  
一般公開を実施します！

国土交通省北陸地方整備局  
新潟港湾・空港整備事務所

※ 荒天等により、やむをえず中止する場合があります  
※ 現地にて受付後には、随時乗船していただきます  
※ 駐車場は、無量寺ふ頭及びびみなと会館駐車場をご利用下さい  
※ 船内は段差が多いため、サンダル、かかとの高い靴等での乗船はご遠慮下さい

# 大型浚渫兼油回収船 「清龍丸」船内一般公開

- ◇ 9月2日に開催される石川県防災総合訓練に参加するため、名古屋港から輪島港に来ます

- 「清龍丸」は、大型タンカーなどから大量に流出した油を海上で回収するために国土交通省が所有する3船のうちの1船です

- 平成9年に日本海で発生したナホトカ号油流出事故のときには、初代「清龍丸」が油回収活動を行い活躍しました

- 船内では、海上で油回収を行うための装置などを見学することができます

公開日時  
**9月1日(土)**  
10時30分～15時00分  
輪島マリンタウン岸壁

現地受付！  
事前の申し込み  
不要です！



## 清龍丸

総トン数 4,792 t  
全長 104 m  
全幅 17.4 m  
泥艀容量 1,736 m<sup>3</sup>  
回収油水槽 1,526 m<sup>3</sup>

同9月1日(土)  
金沢港無量寺ふ頭において  
大型浚渫兼油回収船「白山」の  
一般公開を実施します！

国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

※ 荒天等により、やむをえず中止する場合があります  
※ 現地にて受付後には、随時乗船していただきます  
※ 駐車場は、マリンタウン駐車場をご利用下さい  
※ 船内は段差が多いため、サンダル、かかとの高い靴等での乗船はご遠慮下さい

# 浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

## 「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
  - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
  - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
  - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。

## 「清龍丸」の諸元

- 所属  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港  
名古屋港 V3岸壁
- 着岸岸壁  
水深 -7.5m以上
- 全長、全幅、純トン数  
104m、17.4m、4,792t
- 最大速度  
13.5kt (約25km/h )



低粘度油回収状況



高粘度油回収状況

ヘリ着船



給水



災害対策室兼会議室



# 浚渫兼油回収船「白山」の概要

平成9年1月のロシア船籍タンカー「ナホトカ号」による重油流出事故では、約6,000klものC重油が流出し、福井県沿岸をはじめとする日本海沿岸に約360億円もの甚大な被害をもたらしました。

この事故をきっかけに、国土交通省は日本沿岸の油流出事故に対処するため、平成14年8月に「白山」を新潟港湾・空港整備事務所に配備し、現在では中部地方整備局「清龍丸」・九州地方整備局「海翔丸」・北陸地方整備局「白山」の大型油回収船3隻体制で、出動から概ね2日以内に現場に到着できる体制を整えています。

「白山」は大型浚渫兼油回収船という名のとおり、通常は新潟西港で浚渫作業を行っていますが、大規模な油流出事故が発生した場合は、直ちに現場に急行し、油回収作業を行います。



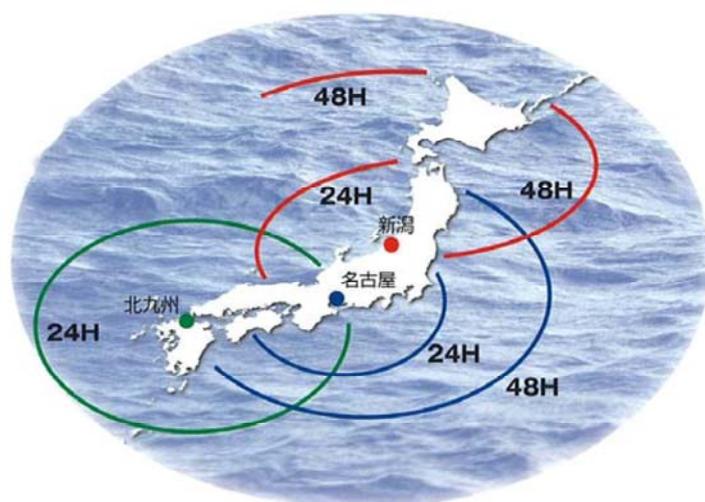
ナホトカ号事故当時



白山 (油回収訓練)

「白山」の概要	
全長	93.9m
幅	17.0m
深さ	7.5m
総トン数	4,185t
航行速力	13.1kt
浚渫方式	サイドドラグ式
泥艙容量	1,380m <sup>3</sup>
油回収機	
舷側設置式	500m <sup>3</sup> /h × 2基
投げ込み式	250m <sup>3</sup> /h × 1基
回収油水槽容量	1,530m <sup>3</sup>

## 3 船体制での油回収エリア



「白山」は新潟港を出動してから日本海を24時間以内、北海道周辺海域でも概ね2日以内に到達し油回収作業を行うことができます。名古屋港の「清龍丸」や北九州港の「海翔丸」とともに、油流出事故への体制を整えています。